



あわよくば四目に...

平成28年2月11日(木)村民体育館



第661号
 発行人 ● 豊丘村公民館 唐澤克己
 編集人 ● 長野県下伊那郡 豊丘村公民館報編集委員会
 0265-35-9066
 印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村
 (3月1日現在 ※外国人を含む)
 男 3,376人
 女 3,470人
 総人口 6,846人
 世帯数 2,121戸

建国記念日に本館冬季レク大会 参加者に囲碁ボールを普及

兵庫県柏原町で生まれたニュースポーツ

冬季レクリエーション大会が、二月十一日建国記念の日に村民体育館で開催された。今回は新種目として、ニュースポーツ「囲碁ボール」を採用し、十チームが熱戦を繰り広げた。同時にニュースポーツ「スラックライン体験」も行われ、当日は小学生から年配の方まで、男女問わず幅広い層が、真冬のレクリエーションを楽しんだ。

先を読む力も必要

第二分館
日吉美由紀

毎年恒例の冬季レク大会が、二月十一日に行われました。今年は十チームが参加し「囲碁ボール」というニュースポーツをしました。「囲碁ボール」は、ゲートボールに囲碁の面白さをプラスしたもので、年齢、性別、体力などを問わず誰もが簡単に楽しめるスポーツです。ルールは先攻が黒ボール、後攻は白ボールを用い、それぞれ十個のボールをスティックで交互に打ち、三メートル離れたマス目のマト上に囲碁のように並べることを競います。

次は五目に挑戦したい

南小学校四年 田島さくら

私は、今回初めて囲碁ボールを体験しました。初めのうちは、強く打ちすぎたり、打ちたい方にボールが転がらなかつたりで、むずかしかったです。でも、いろいろなチームと対戦するうちに三目、四目と上達していききました。

相手のチームにせつかくできた四目をこわさず、四目もありましたが、とても楽しく遊べました。

また囲碁ボールをやるときが



囲碁ボールマットには49個の目(穴)がある

第一回とよおか四季大学大学院開講 社会体育事業の運営方法を協議

次年度当初に運営審議会発足

本館主事

竹村久永

第一回とよおか四季大学大学院を二月十三日(土)の午後四時から交流学习センター1階ゆめあそびで開きました。テーマは「スポーツ振興は連携プレイ 今、体育団体に求められているもの」で、村の体育事業などについて意見交換をしました。お集まりいただいたのは体育協会、分館体育部員、NPO総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員の皆様です。

四季大学院は、ふるさと大使・丸山克俊先生(東京理科大学名誉教授/柿外土出身)のご人脈によって各界から講師を招聘し、講演会や実技指導を通じて教養の向上や健康の増進などに寄与することを目的に開催しています。

この日は、昨年開催した二十四時間ソフトボールや駅伝大会などの運営方法に焦点をあて、各団体の役割と連携の仕方などについて自由に意見を述べていただきました。

参加者からは、「完全な実行委員会ができていない。」「同じ人が実行委員になっている。」「やる前提で事業をやっているからマンネリ化。」「参加する側は楽しんでいない。運営側は会場を何をしてよいのかわからない。」「目的を持ってイベントをやるとき、続けることが目的ではない。」「などのご意見をいただきました。

加えて、「本館と分館の区別がわからない。」「分館によって体育部員が二年毎に交代している。このため、こなすだけの大会になっている。」「といったご意見もございました。



会議はBS法とKJ法を用いて進行

あつたら、私は得点を入れたり、三目や四目を作るのが得意なので得点がせきを中心、がんばってやりました。思ったし、五目ならべられたらいいと思いました。そして、少人数でチームを組んで、たくさん自分の順番が回ってくるいいなあと思いました。

またやりたいです。

段丘

東日本の大震災から五年が経った。現地、東北地方では着々と復興が進められている。大きな津波に対応できるように防波堤を補強し、それを乗り越えることがあっても被害を少なくできるように地盤を嵩上げしている。▼この豊丘でも、備蓄、連絡命令系統他、対応方法を見直し、被害を最小限にできるように対処している。▼阪神大震災後、東日本大震災後に住宅の耐震に関する意識が大きく上がり、住宅の耐震補強、新築住宅の耐震化、制震、免震化も増加した。▼東海沖地震に備え、東海三県での新築住宅では地震に対抗する耐力壁の量は法律で定められた一・五倍。半数以上で制震金物等の地震力を吸収する装置を設置しているといわれる。▼大地震後は仕事上、私の所へも「制震てなんですか?」「制震と免震てどう違うんですか?」「窓が大きいと地震に弱いですか?」と聞かれたものだが、今はめったに聞かれない。喉元過ぎれば...というやつだろうか? 中央構造線が近いため、大地震が来たら東海地域よりこのほうが揺れが大きいとも言われる。地震で潰れない家なら外より家の中にいたほうが間違いなく安全だ。▼これを機に、自宅の耐震性をもう一度考えてみてはどうだろうか。(吉田 裕)

公民館学習会閉講

十講座に延べ千人余

皆勤者は十一名

平成二十七年第十回公民館学習会と閉講式を三月一日(火)に交流学習センターゆめあるで開き、百十一名が受講されました。



今年度最後の学習会には、松川町在住で管理栄養士の竹下則子さんを講師にお迎えし、「あたたかい心を添える食」の先に」と題する講演を聴講しました。講演の結びに竹下さんは、「入院中は眼を開けてほしい。息をしてほしい。顔を見てほしい。自分を呼んでほしい。口から水を飲んでほしい。ごはんを食べてほしい。じゃ、またねと言っ

歌、バスハイク、手話ダンス、紙芝居など十の講座を開講しました。受講者数は延べ千十三人で、一講座あたり約百人が受講されています。閉講式では、全講座を受講された十一名の方に皆勤賞が贈られ、唐澤公民館長が感謝とねぎらいの言葉を添えて手渡しました。

次年度の学習会は、これから実行委員会を立ち上げ、年間計画や運営方法について検討することになっています。募集開始は五月以降の予定です。

【平成二十七年皆勤者】
（名簿順・敬称略）
岩崎ちづ子、水野政子、田畑節子、木下悦子、牧野キミ子、原サチ子、筒井みず、壬生文男、壬生文子、栗澤輝子、竹内ツギ子
（本館主事 竹村久永）

豊丘史学会歴史講演会

古代伊那谷のロマン

会長 木下正道

史学会総会の歴史講演会を二月十四日(水)行なった。

講師は柿外土出身、現在長野県考古学会会長の重責を担っている小林正春先生。演題「古代国家形成にかかわった伊那谷」で講演いただいた。古墳時代前期(三〜四世紀)シナノの中で後進性の強い土地柄であった伊那谷が、五世紀の中頃突如、前方後円墳はじめ多数の古墳が造られ、シナノの中心として表舞台に登場する。県内に五十余基ある前方後円墳の約半数に近い二

十四基が、飯田市を中心に五〜六世紀に造られ、古墳の総数は七百基になる。伊那谷が表舞台に登場する歴史的因は何か。それは、馬の存在である。朝鮮半島から馬が輸入され活用し、社会的変化をもたらした。当時馬は、今で言えばトラックであり、乗用車であり、戦車であって、馬の保有数が勝った豪族が大和政権の中核を担い、後に大和朝廷成立に大きく関わっている。

六世紀以降、東国各地で産した馬が、兵と共に律令の官道「東山道」を通じて畿内に向かう。信濃の国伊那郡衛は座光寺の恒川遺跡があり、東国一帯の兵馬を掌

握し、大和朝廷の東国統治に重要な役割を果たした。伊那谷産の馬が、古代国家形成に寄与し、古代伊那谷に光明をもたらしたロマンは、現代の伊那谷に明るい話題であった。



新たな生き方を共に生き合い、探していく

小中学生の「社会を明るくする運動」作文より

昨年七月に実施した「社会を明るくする運動」に関連して、前号から小中学生の作文をご紹介します。今回掲載させていただくのは、中学二年・北澤鈴乃さんの作文です。



豊丘中二年 北澤 鈴乃

最近、ニュースや新聞などを見ると十代の犯罪が目立っていると感じます。犯罪でも、凶悪な殺人が多いような気がします。このように年々増える若者の犯罪について、犯罪とは何なのかと犯罪をした人たちの立ち直りを考えてみました。

犯罪とは、他人を傷つけ自分も傷つける、やっつけいけない行為です。でも、犯罪を犯したという事は何らかの経緯があったと思います。小・中学生が持っていることが多いスマホからのトラブルもよくニュースで聞きます。学校の中の人間関係もそうです。または、家庭環境や親の教育もあると思います。

このように、子どもたちが感じる様々な思いで、犯罪というものが成り立っていると思います。誰もが好きでやっているわけではなく、人間関係や環境がつくってしまったと考えます。更に、最近ではコミュニケーション不足があると思います。先ほど出たスマホからの件もそうです。インターネットばかりにたよってしまっていて、日常の会話が減っていると思います。そこからのトラブルも増えていると感じます。急速に進むスマホ所持に関

わって、使い方やルールなどを親と決めるのも犯罪防止につながると思います。身近な事から犯罪を止められるのでコミュニケーションを大事にしていく事が大切だと考えました。

次に犯罪をした人たちの立ち直りに関してです。「あした笑顔になあれ」の本を書いた夜回り先生こと、水谷修さんの本を読みました。この本にこのような事が書いてありました。「彼らの更生には、まず彼ら自身が起こした問題行動が、なぜ問題なのかを理解させ、そして犯した罪は償わせ、新たな生き方をともに生き合いながら探していく、という生徒指導は必要。」と書いてありました。この文にとても感動しました。だから、犯罪を犯した人に冷たい目をつけるのではなく、誰かがよりそうところが大事だと思いました。そうしないと、立ち直りができないまま、また次の犯罪を犯してしまうと思います。このように犯罪を犯した人たちの立ち直りについて、地域全体が考えることも必要だと考えます。

若者の犯罪が目立つ中、私たちも目をそむけてはならない問題です。身近なことから、犯罪防止につながるので日々の日常を大切にしていきたいです。そして、犯罪を犯した人の立ち直りについては考えなければならぬと思います。身近な人と話し合っていきたいです。

大正十一年に七人きょうだいの二番目として神福島で生を受けた。当時は高等二年までであったが、高等一年(現中学一年)で学校を辞め、横浜へ就職し四年間勤めたが、日華事変が始まり次第に戦局が激しくなってきたので故郷に帰る。

その頃、飯伊地域で飼っていた綿羊の毛を集め、現山本農協で毛糸を作り、編み物をする仕事に誘われ就職する。工場内の一室に四人が自炊で生活した。第二次世界大戦、敗戦と続き昭和二十二年に結婚する。

この間、大変な苦労があったが、生来の楽天主家ゆえに苦労とも思わずに乗り越えてこられた。子供の頃から体は丈夫で、男勝りの働き手であった。今でも野菜作り、柿作り、草取りなど農作業の手伝いをしている。そして息子さんを始め若い人達を頼りにし、健康に留意しながら充実した日々を送っている。

以降、毎週開かれていた「サロン林里」での様子を紹介したい。毎週ほとんど欠かさず出席されている。まさしく健康である証拠だ。部屋に入ると必ず正座して、「お早うございます」と挨拶。所定の椅子に座り、にこやかに隣近所の人達との会話。スタッフの皆さんが用意してくるお茶菓子には、「美味しい美味しい」と言っていて、しかも、ほとんど毎回きんよさん特製の漬け物などが出てくる。食欲は若い人達に負けない。好き嫌いが無いのは人間関係でも同じだ。自宅がサロンに近いので花畑の草取りなどもそつとやってくれる。人目にはつき難いが、家庭でもサロンでも縁の下の方となつて支えて下さっている。何事にも明るく気配りして、周りに感謝して目立たない中でも、積極的に取り組む姿勢こそが健康長寿の秘訣と思う。写真からも伺えるように屈託の無い明るい笑顔は、その人柄が作り出すものであり、身近で見事な手本を示して下さい。きんよさんです。

文責 桐崎 長一
日下部富次

大家族で培われた 気配り感

シリーズ「元氣な高齢者」⑬



大原きんよさん 九十四歳 林里在住

如月に各分館が冬季レク 心躍らせ 寒さも忘れ

第3分館

餅つき大会

分館長 林原 和夫

二月七日(日)交流センター
だいちで第三分館の餅つき
大会が行なわれました。当
日は各地区に行事などがあ
り、参加者は少ないと思っ
ておりましたが、開催時間
になると多数集まり、盛大
に行なわれました。

餅つき大会では、多くの
子供達がうすの周りに集ま
り、重い杵を大人達の手を
借りながら二回、三回と楽
しそうに楽しんでいました。
できあがったお餅は、大
根おろし・あんこ・きな粉・
ゴマの四種類あり、それぞ
れの所に列がで、「おいし
いね」と家族で食べている
方もいました。
子供達が楽しみにしてい

たビンゴゲームになり、人
気の賞品などは親子で迷い、
また親が子供に「フライパ
ン」とか「あれ持って来て」「そ
れ持って来て」と声を掛けて
いました。
予定時間もあつというま
にすぎ、全員で片付けをし
て終わりました。
楽しい一日でした。



第4分館

冬季 ボーリング大会

分館長 小園 平澤 秋人

二月七日(日)に第四分館の
冬季スポーツ大会として
「ボーリング大会」を開催致
しました。昨年までは雪が
降ったり、大雪だったりと
参加いただいた方達には大
変な思いをさせてしまいま
したが、今回のボーリング
大会では天気も良く快く参

加していただいたのではな
いかと思います。
参加者は男女、お子さん、
老いも若きも含めて五十五
人という沢山の方々の御参
加をいただき盛大に開催す
る事ができました。
十時に開会式。各レーン
二ゲームでプレイしてい
たきました。ご家族で参加
いただいた方達もいて小さ
なお子さんからお父さん、
お母さん、家族ぐるみで参
加していただきました。第
一次ボーリングブーム世代
の大先輩にも参加いただき

館にも数本あります。
鉄自体が大変貴重だった
当時ですから、この「鋤
先」を持てる者はかなりの
富裕層ということになりま
す。また、この鉄器の出現
によって耕作面積が飛躍的
に拡大したとも言われます
ので、豪族とはいかないま
でも、かなりの有力者がこ
の地にいたことが想像され
ます。貴重な鋤先ですから
から摩耗して形がなくなる



会話も弾み和気あいあいとゲームを楽しむ参加者

見事なボールさばきを拝見
できました。若い方達にも
良い刺激になったのではな
いでしょうか？
公民館の大きな目的の一
つである世代間の交流がしっ
かりできたと思います。伴
野区で何かあったときには、
「あのおじさんおばさん」、
「あそここの子」と顔の
見える伴野区になっていっ
ていただけると感じました。

十一時半にはゲームも終
了。閉会式では各表彰を行
ない、賞品を配って楽しい
時間を終える事ができまし
た。
来年も是非ボーリング大
会を開催したいと思います。
多くの区民の方達の御参加
が公民館活動を支えており
ます。来年のボーリング大
会にも数多くの御参加をお
願い致します。

こちら資料館 162 三島遺跡 から出た鋤先

写真は「鋤先」と呼ばれ
る鉄製品です。前回紹介し
た墨書土器が出た住居跡の
礎石のすぐ脇から発見され
ました。よって、同時代
と推定されます。このよう
な完全な形で発掘されるの
は非常に希とのことで、今
回の三島遺跡出土品の中
でも注目する逸品です。
用途は、ご存知のように
木製の鋤や鋤の先端に付け
て刃先として使いました。
このような農具はつい近年
まで使われていて、当資料

館にも数本あります。
鉄自体が大変貴重だった
当時ですから、この「鋤
先」を持てる者はかなりの
富裕層ということになりま
す。また、この鉄器の出現
によって耕作面積が飛躍的
に拡大したとも言われます
ので、豪族とはいかないま
でも、かなりの有力者がこ
の地にいたことが想像され
ます。貴重な鋤先ですから
から摩耗して形がなくなる

らいまで使ったことでは
う。また、鉄製ですからサビ
易いのが当然です。
そんなわけで、この
種の遺物が完形
で発掘されること
はまずないとい
とです。
今回出土した
「鋤先」は現在、こ
れ以上サビが進ま
ないよう専門機関
による処理の最中



長さ20cm、最大幅19cm

です。
(資料館主任 唐澤武彦)

どうぞよろしく 新編集委員

見て楽しめる 紙面作りを

柿外土 宮下正弘

今まで何気なく目を通し
ていた公民館報の編集委員
を、文才乏しい私がお引き
受けいたしましたことに、
気の引き締まる思いで委員
になり、今後二年間をどの

ように作業して行けば良い
か戸惑う次第であります。
豊丘村公民館報は長い歴
史を積み重ねてきた中に
先人の綴った言葉が今でも
鮮明に活字として残されて
いる、村の永い歴史を読み
取ることが出来ます。その
時代の出来事や気持ちを書
き綴った、資料としても貴
重なものだと考えています。
スタイルは当初からの題字

を大切に使い、変わるこ
のないレイアウトを継承し
ていることで、近代デザイ
ンの得意な自分でもこれは
今後形式だけは崩せない
だろうと考えました。それ
では新しい試みは何をどう
すればなど思考してみても
の、できるこ
とといえば真面
目に編集作業を
行うなかで、見
ても楽しめる紙
面づくりなのか
など考えるだけ
に留めました。

始まったばかりの編集委
員ですが、自分ができるこ
とは協力していこう、作っ
た紙面を後世に残せるよう
な努力をしようと思っ
ております。よろしくお願
いします。



とよおか 100年前

『豊丘村民話集』より

ありがたい

心経の話

武田 寛

これはわたしが少年の頃
祖父から聞いた話です。

昔、あるところに熱心に
般若心経を習っている少年
がいました。ある日、この
少年が山へ薪取りに行き、仕
事などそつちのけで、棒切
れで木を叩いて調子を取り
ながら、間違いだらけの般
若心経を唱えておりました。

するとどこからともなく
「どこどこ心経逃ぎようヨ
オー、とどこどこ心経逃ぎよ
うヨオー」という声が聞こ
えました。いわゆる、天の
声とでもいうのでしょうか。
少年は自分呼んでいるの
かもしれないと気づき、急
いでそこから逃げました。す
るとまもなく、今まで少年

のいた場所が、大音響とも
に一瞬にして崩れ落ちまし
が少年は逃げたおかげで難
を免れることができました。
少年が命拾いすることがで
きたのは間違いだらけなが
ら一心に般若心経を唱えて
いたおかげであつて、心経と
はこんなにもありがたい、あ
らたかなお経だと聞かせて
くれました。この説話はただ
これだけです。昔の人達は
心経を大変ご利益のあるあ
りがたいお経と信じていた
ことは間違いありません。

昔は「一刻千巻」とい
うことがときどき行われた
という事も聞きました。一
家の主人とか主婦とか、そ
のほか大事な人が病気になる
り、しかも重態になったと
いうような時に多く行われ
たとのこと。
「一刻千巻」とは文字通り
一刻(二時間)の間に心経千

巻を繰り返して誦すること
で、心経を唱えることのできる
人達が十人くらいは集まっ
たとのことでした。百人寄っ
ても一刻の間に一人で心経
百回を繰り返して誦さねばな
らぬので、なかなか骨の折
れる行だったと聞きます。
それで幸いにも病人が快
方に向かえば、ありがたい「一
刻千巻」のおかげと喜び、不
幸にして亡くなるような事
態になった場合でも「一刻千
巻」まであげてもらったのだ
から寿命であつて、如何とも
仕方のないこととひとつの
諦めになったようでした。

この習慣は明治の初期、
十年か十五年ころまで残っ
ていたのではないでしょう
か。わたしの祖父は
(安政末年の生まれで
したので、明治維新
の頃はまだ十歳そこ
そこ。その祖父がと
きどき「一刻千巻」
に頼まれて行つたと
いうのですから、明
治もかなり進むまで
こうしたことが信じ
られ、また行われて



堀越・上垣外 阿弥陀様祭り

(豊丘村民話集・第巻輯
昭和五十二年より)
文責 壬生雅穂

女団連が親子セミナー開催 伝統行事食を伝承

豊丘村女性団体連絡協議会では、季節ごとの行事やお祝いの日など「ハレの日」に食べる特別な料理・伝統行事食を若い世代に伝承しようと、親子セミナーを二月二十八日（日）に交流学習センターゆめあてで開き、五組十七名の親子が参加しました。

寄せられたアンケートに安堵

豊丘村女性団体
連絡協議会会長
壬生万里子

当日は、一組二名の親子が都合で参加できなくなり、お母さんと一緒に分量を量って作り上げました。ごく少数の小さな事業ではありますが、お母さん、お父さん、見知らぬ地域の子どもがリンゴをすりおろし、お母さんと一緒に分量を量って作り上げました。ごく少数の小さな事業ではありますが、お母さん、お父さん、見知らぬ地域の子どもがリンゴをすりおろし、お母さんと一緒に分量を量って作り上げました。

村の女団連は、日赤奉仕団、ボランティアの会、食生活改善推進協議会、JA女性部の四団体が構成されています。毎年この事業には、各団体の代表員が参加し、講師を務めています。今年の献立は、五平餅、茶わん蒸し、濃厚リンゴ寒天ゼリーの三品でした。講師を務めた代表員は、二月十六日（火）に試作品づくりを行ない、だしの分量や調味料のさじ加減を調整して、この日に臨みました。

火。あとは弱火で八十分を目安としました。このほか濃厚リンゴ寒天ゼリーは、幼児や低学年の子どもがリンゴをすりおろし、お母さんと一緒に分量を量って作り上げました。ごく少数の小さな事業ではありますが、お母さん、お父さん、見知らぬ地域の子どもがリンゴをすりおろし、お母さんと一緒に分量を量って作り上げました。



ささみの筋取りを指導

コミュニティスクールがはじまります。学校を応援してください。ボランティアを募集

教育委員会では、地域が学校を応援する「コミュニティスクール」を二八年度から始めるにあたり、学校支援ボランティアを募集します。学校は、これからの社会を担う世代の育成のため様々な教育活動を進めています。が、子どもに表れる問題が多様化、深刻化しており、学校は常に様々な課題を抱えながら運営を行なっている現状にあり、子どもの教育は、家庭、学校、地域が共にその役割を担っていくことが必要となっています。コミュニティスクールは、

これまで紹介すると、「原因は...」となるのだが、今のところ、まったく分からない。今年度のウグイスの初音は3/5。暖冬の影響で早いのかと思っただけ、それでもなさそうだ。3/2(H.25)、3/6(H.24)、3/9(H.26)、3/17(H.23)だったから。それでは、チヨウの出現はどうだろうか。「長野県産チヨウ類動態図鑑」を参考に、成虫初見日を一覧表にしてみた。ベニシジミ60日、テングチヨウ55日、キタテハ39日、モンキチヨウ31日と二カ月から一カ月は一日早いだけだったが、こ

豊丘の自然

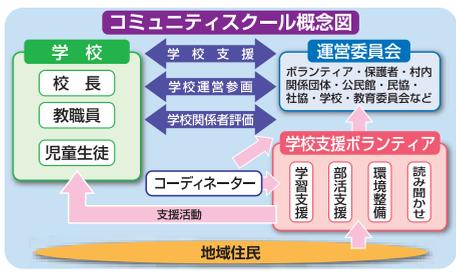
ルリタテハ
(タテハチョウ科)



今年度のウグイスの初音は3/5。暖冬の影響で早いのかと思っただけ、それでもなさそうだ。3/2(H.25)、3/6(H.24)、3/9(H.26)、3/17(H.23)だったから。それでは、チヨウの出現はどうだろうか。「長野県産チヨウ類動態図鑑」を参考に、成虫初見日を一覧表にしてみた。ベニシジミ60日、テングチヨウ55日、キタテハ39日、モンキチヨウ31日と二カ月から一カ月は一日早いだけだったが、こ

	今年の記録	これまでの記録	差(日数)
モンキチヨウ	2016.1.3	1949.2.4	-31
ベニシジミ	2016.1.3	1998.3.4	-60
キチヨウ	2016.1.3	1976.1.14	-11
キタテハ	2016.1.3	1987.2.11	-39
テングチヨウ	2016.3.4	1998.3.3	-55
スジソヤマキチヨウ	2016.3.3	1962.2.11	+19
ルリタテハ	2016.3.3	1998.3.4	-1
ヒオドシチヨウ	2016.3.3	1997.3.9	-5
モンシロチヨウ	2016.3.8	1979.2.28	+8

(山田 拓)



前号1面「ママ講座に参加して」の記事の一部誤りがございました。お詫びして訂正いたします。お詫びし

お詫び
前号1面「ママ講座に参加して」の記事の一部誤りがございました。お詫びして訂正いたします。お詫びし

出生
2月1日から
2月29日まで(届出分)



死亡者
死亡者 年齢 届出人 自治会

短歌会 夢あるて
南天の雪吹き払う風の音足かばいあるし亡父の声聞く
とつておきの松茸芯に恵方巻き病の義姉にと類はゆるめり
せんてい後枝は大きく息をしてことしの柿の一步始まる
十二歳のわれ知る友の賀状減る同級生はずでに三人となる

俳句 短歌
笹鳴や手元おうすの薄みどり
寺詣で千古の森に春暮む
決め事とバレンタインに銘酒買ふ
独り寝の子犬抱きしめ冬の夜
豆まきに我は一人て福は内
雪の仙丈研ぎ澄む構え群をぬく
日脚伸び行く先見えぬPPP
決意して今を生きをり寒椿
寒晴や三百年の櫻伐る
過疎の子ら帰路はまばらに寒夕焼
通学の子ら声高や春隣
佗助に遠世の井戸のこだまかな

柳
《豊丘川柳クラブ豊柳会》
▼課題「宿」 福沢勝美 選
宿場町尋ねて見れば異国人 小澤 凛
跡継ぎがない宿農細る 原 美風
暖かな家庭に宿る福の神 西元 峯子
軸吟：宿願の改憲総理まつしぐら 福澤 亀人
▼課題「利」 互選
大臣も利権の畏に落ち沈む 桃沢 健介
仲良しも利害がからみ仲たがい 吉川 燎
年の功円くおさめる利き役者 市沢 照子
地球汚染便利さ追ったツケがきた 林 桃子
▼自由吟 桃澤健介 選
五郎丸動作真似する子供の手 安田 喜子
北の国宇宙にゴミを打ち上げた 久保ひろし
一発のミサイル世界北を向き 福沢 勝美
軸吟：お粗末な議員大臣ソロソロと

八日念
立春の朝の庭先子供等の鬼は外の豆点々とみゆ 吉澤 新子
寒中に満開となる梅の花異常気象に実のり危ぶむ 岳 道
これが最後と亡夫に云いつつ取る免許早三年に未練が残る 紅 梅
誘われて「てっぺん公園」訪れるくの字の坂道のほり 寺元 和実
目の前の高さ山々雪も溶けもう春が来たかと眺めていたり 松島 八重
昨日は雪今日は寒さと炬燵なにいぬふぐりははや地に花こぼす 河原 梨花
《あしたば短歌会》
疎遠なりし学友よりの長電話過ぎし昔にタイムスリップ 久保田 妙
赤い目で春が来たかと覗いてる椿のつぼみ睦月なかに 壬生 千春
生きてます倅ですと腕広げ澄みし青空抱え込みたい 北澤 秀子
人生の残りを詠まん短歌の道百里か九十か任せゆくのみに 毛涯百合子
連れ合いが車椅子押す老夫婦小春日のなか何を語るや 大倉 知江
千し柿の出荷を終へて老人会旅の一座の子役に涙す 福澤 亀人